令和４年度　地方創生推進交付金に係る事業実施結果報告

No	事業	金額 単位：円		委託先	内容
1	しょうおう志援協会からつながるひとづくりと「勝利の町」魅力発信事業	委託	10,269,000	**（一社）しょうおう志援協会** ①+②＝7,226,000 ③＝3,043,000	勝央町の未来を創ることを目的に、しょうおう志援塾の卒塾生が中心となって設立したしょうおう志援協会が、勝央町元気なまち総合戦略の一丁目一番地である人材育成及び地域活性化に係る以下の事業を行う。 ①**勝ブランド事業**：地域名に因んだ「縁起のいい勝利の町」として立ち上げた地域ブランドについて、商品発掘、販路開拓、プロモーションを行い、町の魅力発信を行うもの ②**まちづくり人材発掘**：地域活性化に関わる人材の発掘・育成を目的に、以下の事業を行うもの 【遠隔オンライン会議】域外との関係人口の増加を目指した遠隔オンライン会議 【まちづくりサロン】職種や年代を超えた多様な人材が語り合う場をつくり、ビジョンの共有と地域課題の解決を目指すもの 【こども起業塾】商品開発や販売体験、利益分配など経済の仕組みについて学習・体験し、地域で生きていく力を身につけさせることで、将来的なUターン促進を促すもの ③地域活性化の拠点として全国の拠点との関係構築や交流促進を行う**「勝央こころざしシェアスペース」の運営**を行うもの。
2	勝央工業団地バーチャルオープンファクトリー運営事業業務委託	委託	4,972,000	(株)勝央体験ファクトリー	地元企業の魅力を伝えるとともに、就職活動に資する情報提供を行うことを目的に、ウェブサイト上で「工場見学」が行える『**勝央工業団地バーチャルオープンファクトリー**』特設サイトを開設するもの。
	合計		15,241,000		

No	① 事業の名称	② 担当部署	③ 実績額 単位：千円	④ 本事業における重要業績評価指標（KPI）					⑤ 本年度終了時における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標		指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	**地方創生推進交付金事業**	総務部	15,241	指標①	地域ブランド商品の売上高	3,500,000	円/年度	R4.3	3,557,125円	地方創生に効果があった	地方創生に効果的であった	「勝ブランド」に関しては、様々なメディアで取り上げられたこともあり、周知が進んできた印象だ。しかし、肝心の町内での認知度はあまり高くない。ここまでの流れを閉ざさず、町民への広報をさらに検討・推進していってほしい。 人づくりの面では「こども起業塾」など、定期的に町の内外から人を集めて開催していることは評価できる。今後も開催する方向で方策を考えてほしい。 オープンファクトリーについては、今後、交付金等を活用したリアル開催の方針は無いとのことだが、工業団地の企業を地元の子どもたちに知ってもらう機会を、教育委員会などと協力して作って欲しい。 また、地元勝間田高校と工業団地とのつながりは、高校の魅力向上にもつながる重要な要素であることを念頭に置いて、今後もそのあり方を検討して欲しい。	予定通り事業終了	地域ブランド商品の売上に関しては、「勝ブランド」の認知度が高まってきたことや、ふるさと納税制度の浸透を背景とした勝ブランド関連商品の売上が増加したことがKPIの達成に寄与したと考えられる。今後も「縁起の良いまち」として、町のブランディング戦略を強化していきたい。 まちづくり事業に関しては、コロナ禍の収束を受けてリアル（対面）での開催を軸に、人材育成やまちづくりサロン事業を実施していく予定である。引き続き関係人口の構築や定住促進に向けた施策を強化していく。 さらに就職を控えた高校生や一般町民に対し、地元企業の魅力を知ってもらうツールとして制作した「勝央工業団地バーチャルオープンファクトリー」特設サイトについて、より幅広い年代層に活用してもらうべく周知を図っていく。
				指標②	ウォークツアー及び社会教育ツアーの参加者数	100	人/年度	R4.3	0人					
				指標③	遠隔オンライン会議をきっかけとした来町人口	15	人/年度	R4.3	18人					
				指標④										
				指標⑤										

デジタル田園都市国家構想交付金　交付額　　**7,620,500円**（15,241,000の1/2の額）